
真恋

taila

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

真恋

【Nコード】

N5627A

【作者名】

taila

【あらすじ】

今まで臆病で本当の恋をしたことが無かった女の子が初めて本当の恋をするお話です

第一話：私

私は今年で高校三年生。

人並みに恋もしたつもり。ていうか、ほとんど一目惚れ（笑）

だけど自分は臆病だと決め込んで、今までに恋した人に一度も想いを伝えたことが無い。

自分からは喋りかける勇氣も無いくせに

「何で私の気持ちに気付いてくれへんの？」

何で話し掛けてくれへんの？」

と自己中心的な事を考えていたり。

友達には

「何で告白せえへんの？」

といつも言われてきた。

告白??

何でそんなことするの??告白して・・・一緒にいて・・・???ただ、好きって勝手に思ってたらあかんの???

友達は私の事を

「菜津はクールやな」

て笑う。

クールなんかじゃなかった。頭の中はその人の事でいっぱい。ずっとその人のこと考えてた日もあった。

でも違ったんね

今まで私は本当の恋をしたことがなかった。

今思えば私は恋をしてる自分に恋をしていたんだと思う。

どんなに恥ずかしがり屋でも、どんなに怖がりでも

本当に本当に好きになった人には想いを伝えたくなる。

あふれてしまつて伝えずにはいられなくなる。

それを教えてくれたのは

亮ちゃん

あなたでした

第二話：出会い

高校三年生。今日から新しいクラスになることに何の心配も感じず私は3年3組の教室に入った。

亮ちゃん

あの時、一番最初に私と目が合ったのを覚えていますか。

やっぱり今思うと、一目惚れが得意な私はあの時もうあなたに恋をしていたんだと思います。

中原亮佑

中学は違っけど、中学の時通ってた塾が一緒だった。

あの時はまったくなんとも思わなかったのに・・・

いつのまにか高くなった身長、整った顔立ち、着くずした制服

二年会わなかったただでこんなにかわったあたなに恋しない方がおかしいくらいにあなたは格好良くなっていた

やっぱり恥ずかしがり屋で意味のわからない見栄があった私は久しぶりの再会にもかかわらず、まったくの無視。

あなたは私の友達の元彼だったし・・・

しかもあの頃は、色んな友達に他校の男の子を紹介してもらっては、性格が合わないだのなんだの言って断っていた頃だったし、もう、あんな想ってるだけの恋はしたくないって思ってたからかもしれない。でも私はあの頃何かが変わる気がしていた。

あなたのおかげで変われる気がしていたの。

1年前・・・

中原君と初めて同じクラスになってからもう1カ月がたつ。
まだ私は見つめているだけ。こんなのダメやなあゝ話し掛けな！って思いながらもう片方で
あかん！これを恋にしたらあかん！また前と同じ事繰り返し替えすん？
と言っているもう片方の自分がある。

誰かに相談しようか？？

でも誰かに話したらこの気持ちを恋として認識しなくてはいけないような気がして安易には相談できない・・・

でも中原君を見ると、毎日が楽しみだと思える気持ち、初めて味わう目の前が明るくなるような心の軽やかさを自分でも不思議なほど感じていた

やっぱり話し掛けたい。

初めて自分からそう思った

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5627a/>

真恋

2011年1月27日10時08分発行